

刊夕日二十月二



定価 一月五拾五圓 郵費別  
廣告料 五圓以上 二割 五圓以下 三割  
日曜 祭日の翌日 休刊  
発行所 常磐高日新聞社  
印刷所 常磐高日新聞社  
電話 六三三〇  
支店 仙台 盛岡 秋田 岩手 青森 山形 宮城 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 新潟 富山 石川 福井 山梨 長野 岐阜 愛知 三重 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 徳島 香川 岡山 広島 山口 福岡 佐賀 長門 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄

# 夢と人生

眞 繼 雲 山

夢は五臟六腑の疲れといひ、痴人夢を語ると貶すのは、夢に三文の價値なしと見切つた觀察である。成程と昨夜斯く／＼の夢を見たと話してゐる當人も常人なら、それを眞顔になつて聞いてゐる男に至つては尙ほ更の代物である。

併し夢は、その當人の性格を表はし、心もちを反映する、鳥さし平助のやうに乞食が大名の夢を見ぬ限りでもないが、上等な人間は上等の夢を見、下等な人間は概ね下等な夢を見る。武士は太刀風に眼を覺まし、下司は茶碗の音に眼を覺ますのである。

孔子は「夢に周公を見ず徳の衰へたる哉」と嘆じたが、心の暗鬱險兇な時にはおのづからそれに相應した夢を見、心の晴れやかな時にはおのづから晴れやかなゆめを見、近神人はおのづから神格に近いゆめを見るであらう。

然らば即ちゆめによりて己れが心境の近時那邊を歩みつゝあるかを測知することは、必ずしも不可能架空の談議ではあるまい、孔子のゆめに周公を見ずと嘆じ

たのも、恐らくは這間の消息を傳へたものではあるまいか。

昔の高僧方は、修業の道程として神社佛閣に三七日乃至は百日の參籠祈願などいふことを屢々せられた記録が見える、さうしてその結着は多くは靈智のお告げといふに歸する親鸞聖人の御傳抄の如きは全卷殆んどゆめ物語といふてよい、左れどもその眞偽は固より後世風俗の思議すべき限りではない。

ゆめによつて吉凶を判じ將來を卜せんとすること、古今を通じて人間の着眼点であつて、ゆめの奇蹟に驚かざるゝこと今の世にも往々是れあり、而かも科學や實驗をもちて何等の結論を見出だし得ぬこと、博士連中の恨事であらうが、宇宙は神秘の寶庫であり人間はその秘庫の一局部を覗いてゐるのである、神秘ある故に人生に風味あり、それに歸依したのが南無不可思議光佛である。

丹餅を食ひむ中に花を見、む中に興會を盡くし得たものは華ひである、そはゆめ覺めての後に過ぎし禍福は帳消しとならない原理による、昨夜のむ中の花見と昨日の實際の花見との兩者の差いくばくぞといふに、ゆめには痕跡がなく事實には折詰のカラが残つてゐるに過ぎぬ、カラ何するものぞ人生五十年は概ねこの辨當の食ひガラである、往時の再び逢ふべからず、明日また捕ふるに由なしとすれば吾人は現在の一瞬時に生くる以外には、何の把握し得べき地盤とでもない者か

## 文藝募集

命は光陰に移されて、しばらくも停め難い、その露命は滅りて無くなること駒の蹄の如く水たまりの魚よりも果敢なしとは出離經の説示ではないか。

人身得ること難し、佛法値ふこと稀なり、最勝の善身を徒にして露命を無常の風に任ずること勿れとは道元禪師の無訓である、その人身とは只今のこの一秒時間より外にはない、五十年を漫然と空過してはならぬと同時に、よきゆめを結ぶべく努めよ、ゆめの道中に貧着固執すること勿れ。

### 冬の通學服

当店特製の黒小倉通學服を豊富に取揃へて御座います。

長ツボン付  
小學生用……・85錢  
同(特製品)……1・90錢  
中學生用……2・80錢

ふかや洋服店 平三 電203

### 耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町(電話一七〇番)

大和田醫院

セメント  
壁用材料  
コールタール  
ペンキ塗料  
板ガラス

磐城セメント株式會社  
代理店 西村屋藥舖  
平町二丁目電三

### 磐城名城産

らか鹽と節經

店理代平命生本日本大最優最  
榮盛賀志  
番三一電 目丁四平

寒い北海道でふる靈藥  
胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥

松前公御典醫之秘法 家登  
靈効散

胃腸病で苦しむ方、心臓、腦病、痔疾の方は是非御試し下さい、見本藥は御希望の方に進呈致しますから御遠慮御申出下さい、本藥は有り觸れた胃腸藥の様に一時抑へや習慣性になるものでなく確かに根治の目的を達します、効き目が効能書以上でアイフの三分の一安價で効はアイフ以上値段が安いものですから實際大評判の靈藥です、本藥は責任藥に付き無効の時返金致します(定價は八日分五十錢です)

靈効散 平町古鍛冶町(電話四四番)

地方代理店 阿康藥舖

### 正確な時計

お客様本位の……

好適の眼鏡

平一常盤屋時計店

### サロンの黒ビール

レストラン サロン

電三五二

# 入り亂れての 混戦状態

## 互ひに地盤奪取 形勢逆睹し難し

相馬郡に於ける松本氏擁立運動は遂に奏効せず結局佐藤候補擁護と決したので然候補は有力となり同派の鈴木候補が困難の立場に遭遇するに至つたが選挙は餘す處僅か八日に迫つたので鈴木派は郡内各地に狂奔する一方双相兩郡にも縁故をたどる事となり「鈴木落すな」の聲は隨所に満ちて居るが是れが爲め無風地帯を行くの觀あつた氏家派も狼狽し盛んに石城進出を企て比佐派の警戒依然として止まず全くの混戦状態を呈するに至つて居る

### 各派舌戦

明十三日

△鈴木候補 (午後一時) 川前、田人、入遠野 (午後四時) 上遠野、山田分教場  
△佐藤候補 上遠野、入遠野、植田、山田、川部、勿來  
△比佐候補 中二阪、差鹽下永井

### 投票開票の

## 係官決定

縣より出張  
來る廿日の選挙に際し石城

### 同菅野徳次郎 鑛區稅滯納 近く強制差押

平稅務署では昨年末を納期とする鑛區稅の徵收が意外な不成績で採掘は六千九百九十九圓(納入済二萬九千九百九十九圓)試掘は二千二百六十二圓(納入九千二百八十圓)の滯納あり試掘稅が殊に不良で近く強制差押へ處分を行ふ事となつたが試掘中には全く無財産の者がいはゆる山師的に鑛區の獲得だけを目的とし他へ轉賣し一儲けを目論んだが昨今の不況から賣れず捨て置くやうな者もあり稅務當局も手を焼いてゐる

### 種卵を購入して 孵化能率を増進

農林省の青森種鶏場から

石城郡農會では農家の副業として鶏の飼養を奨励中であつたが最高孵化率は年二百羽以内にて清算上良成績を得ないので今回新たに農林省の青森種鶏場より種卵の拂下を受け年度平均二百より二百五十羽の成績を得んと同種鶏場へ種卵九十六個の拂下申請中の處本日許可する旨通知が有つたと

### 平窪共同販米

來る十八日に

石城郡平窪村の共同販賣は本月上旬行はれる筈であつたが舊曆歳末で各農家共忙しく出品数がまとまらぬので延期されて居つたが來る十八日午前十時より平窪農業倉庫にて行ふと

### 平町人事

回出生

△南町七三當時石城郡内郷村字宮五十五嵐藤吉氏二女サト子

## 鈴木辰三郎氏を 推薦す

拜啓 貴下益々御清榮奉慶候陳者此度の選挙に際し鈴木辰三郎氏を推薦せんとするは當に同氏が本郡に於ける我が黨唯一の公認候補者たるのみならず更に他の理由の存するものに有之候御承知の通り同氏は夏井村の農家に生れ獨學自修研鑽怠らず年齒僅か貳拾代にして郡會議員に擧げられ更に縣會議員に當選する事數次今や縣政を統帥する名幹事長として其の才幹は吾人の等しく認識する處にして同氏の聲望旭日昇天の概あるは如何に同氏の手腕力量が尋常一様の器に非ざる事を雄辯に物語る證左にして梅檀は二葉より芳しとは正に同氏を適評するものに候

實に同氏は獨立獨歩幾多の困難と戦ひ刻苦勉勵今日の地歩を得たり、然れども同氏の眞價は過去に非ずして未來に屬す蓋し過去の經歷が將來を豫斷する最良の羅針盤なりとせば同氏の將來の發展向上も略々想像に難からず候

況むや同氏は前途春秋に富む有爲の士なれば一度議政壇上の人たらんか平々凡々月並の一陣笠として埋るものに非ず必ずや天下に「鈴木」ありとの存在を明かにし應て驚天動地の仕事をなし貴下の御負托に背かぬ事必定と存候、夫は同氏を親しく熟知する人の何人も同感とするところ、而も同氏は仁俠に富み滿身是れ血と熱の結晶にして政治家としての天才的素質は十二分に具備するものに候

小生は同氏の先天的天才を遺憾なく發揮せしめ以て將來ある同氏の前途を有意義たらしめ度敢へて貴下の尊き一票を懇望する次第に御座候 敬具

昭和七年二月十一日

平町播種小路三〇番地

阿部政右衛門

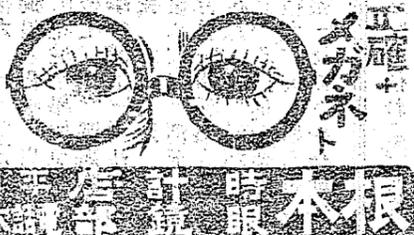
### お茶の値下斷行

本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ  
煎茶四十目袋入 十錢より五十錢まで  
ほうじ茶四十目袋入 十五錢 二十五錢



## 吉田眼科病院

平窪町、電話六八番



眼鏡特賣  
高級レンズ  
獨逸ユーゾンネ光學工場製  
フンクトリヒ  
特別 三圓五十錢  
舶來生地メニスレンズ  
近視用 一圓より  
遠視用 三圓より  
三稜鏡  
學生用 クローム 三十錢  
實用用 ニッケル 二十錢  
其他最新型各種  
特價提供  
醫家の處方に依り眼鏡親切に調製  
◇見習店員入用十四五歳位

各眼科院御用

# 猛將軍の留守宅から

## 伏見平町長へ感謝状

### 犠牲者を想つて泣くと

### 植松夫人の水莖のあと

目下戦亂の巷と化した上海の我が海軍陸戦隊長として獅子奮迅の猛闘を續け警戒健兒の面目を發揮してゐる相馬郡鹿島村出身植松少將の武運長久を祈らんが爲め過般伏見平町長から縣社子歛倉神社の神札及び神符に慰問状を添へ留守宅たる東京市外代々幡町の同氏夫人に送附した處本日さきん子夫人より左の如き禮状を寄せられて來た

此度は御丁寧なる御手紙を賜はり且つ御神札をお送り下され御高慮の程戦地に在る植松はさぞ喜ぶ事と存じ候毎日新聞やラヂオにて僅かに其消息を知るのみにて彼地からは何等の便りにも接せず激戦の程も偲ばれ居り候、吳淞砲臺陥落の報に一同喜び居る處に御座候、只其の犠牲者を想ふとき涙なしには讀み得ず候此の上は一刻も早く日支親善の日の近からん事を神かけて祈り居る次第に御座候

### 派遣兵慰問

#### 紀元節に送金

平町では昨年末募集した

満兵慰問金千七百圓の中第一回分として石城郡内からの出征軍人二百廿七名に對し十一日の紀元節を機として一人當五圓づつを贈つた

の青年講座は來月二日泉村を皮切りに夏井、神谷、大野、赤井等に開催される筈であるが同講座に於て中會根主事の講演後特に左の事項に就き聴講員の研究發表を徵する由

### 研究發表

#### 青年講座に

既報縣主催に依る石城郡下

## 月見町分團優勝す

### 昨日の分團對抗驛傳競走

既報昨日の紀元節に催された平青年團の各分團對抗驛傳競走は草野村役場前より三丁目角迄を五區に分け極小路、田町、新川町、月見町、四丁目、南町、胡摩澤、白銀の九分團から五名宛の選手参加し必勝を期して午後二時四十五分草野村役場前を出發したが月見町チームの力走見事に他を抜き廿二分三十秒を以つてゴールに入り優勝した同チームのメンバー左の如くである

### 不義の妻を 取押方願出

双葉郡木戸村大字下小場字上ノ原古市一夫(三七)の妻クヨ(三三)は本月一日同村の北郷直松方に野菜行商に立寄つた後行衛不明となつたがクヨは豫てより同村澤根國有林の製炭業三木某と亭主の眼を盗んで不義を續けて居たのを最近亭主に感付かれた爲め道行を極め込んだらしく亭主は石城郡三坂村方面で兩名が製炭業を

### 選舉騒ぎで 米價は動かさず

#### 検査を受けぬ米は損

最近迄トーン／＼拍子に高値を示した郡下の米價も流石に選舉の影響で其儘居据りの有様となつて居るが昨日平穀物検査所の調査に依ると相馬米五等建値一畝で十八圓五十錢一俵九圓廿五錢であるに對し地米は少々安く五等建値一畝十七圓五十

### 軍備と防空

#### 十三日會講演

平十三日會は十三日午後七時よりマルトモビル樓上に開催、警中配屬將校八谷弘氏の隣邦の軍備と防空に就てと題する講演ある由



明日のドラマ

### 今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) お話「カタルト射台機」小川格  
後七、三〇 選舉講座「選舉運動の取締」内務省高等課長 三橋孝一郎  
後八、〇〇 謠曲定期演奏「小袖會我」觀世左近  
後九、〇〇 少女歌劇「夢

### 明日の部

後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報  
後九、〇〇 料理献立「月見あんかけ豆腐」松本良雄  
前一〇、三〇 家庭講座「春に應はしい女兒の作り方」(一) 木田翠明

### 一回目の卓球戦

平町田町の天塚運動具店では來る廿八日午前九時より平第三小學校講堂に第二回の關東北ピンポン大會を開催するとの事であるが同競技は三人一組の試合で希望者は廿五日迄に申込れ度いと尙優勝組に銀製大カップを贈る筈である

### 平職業紹介所報告

求人部  
材木運搬 卅才前後 日給六七十錢位(平町某)  
女中 廿才迄 尋卒 月七八圓より拾圓迄(平町某辯護士)  
袋張 廿五才迄 子供なき婦人月三圓位(平某紙袋店)  
馬方 廿五才迄 月給八九圓迄(石城郡川前村某)  
求職部  
雑夫 廿八才 尋卒 給料面談(愛知縣某)  
雑夫 四十四才無學 給料面談(平町某)  
兒守 十四才 尋卒 月

# 美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

後〇、〇五 神樂囃子 宮城縣刈田嶺神社 大槻勝見外  
後二、〇〇 家庭講座「箏曲」(四) 宮城道雄  
後六、〇〇(子供の時間) 獨唱と齊唱 若手縣花巻町花城小學校兒童  
後七、三〇 選舉講座「選舉の罰則」司法省刑事局長 木村省達  
後八、〇〇 清元「梅柳中宵月」清元梅太夫外  
後八、三〇 漫談「インタク」北原英太郎外  
後九、〇〇 掛合噺「二人旅」たぬきや金朝外

